

公開シンポジウム

# 外国ルーツ青少年への初期段階支援とは

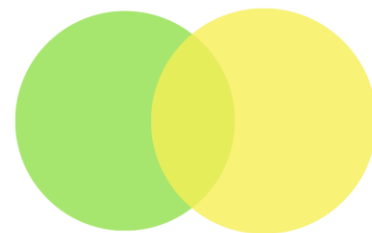
— 『安心して学ぶ、暮らす』を支えるために—

アレッセ高岡の試み

NPO法人アレッセ高岡

青木由香、岡崎勝利、水田 佳歩、白鳥イルサハニーフ

2024年02月21日（水）AP品川にて



**ALECE  
TAKAOKA**

SINCE 2010

# コロナ禍

学びの分断

学びの中断

学びの断念

## 入国制限緩和→新規来日急増



(夜間中学ニーズについて)  
「要望も問い合わせもない」  
(R1/2県議会定例会での知事・教育長答弁)

学びたいけど、  
学べない

### 小中学校

- 支援体制不備

### 県立高校

- 入学できない
- 支援なし

### 私立高校

- 学費が高い
- 支援不十分

### 地域支援教室

- 少ない（コロナで閉室）
- 入れない（要日本語力）

最善で可能な  
学びの選択肢と  
は？

×  
プレクラス  
(初期日本語適応教室)

×  
夜間中学

×  
民族学校

×  
インターナショナル  
スクール

当事者が本当に  
求めている  
ものは？

### 【量的調査】

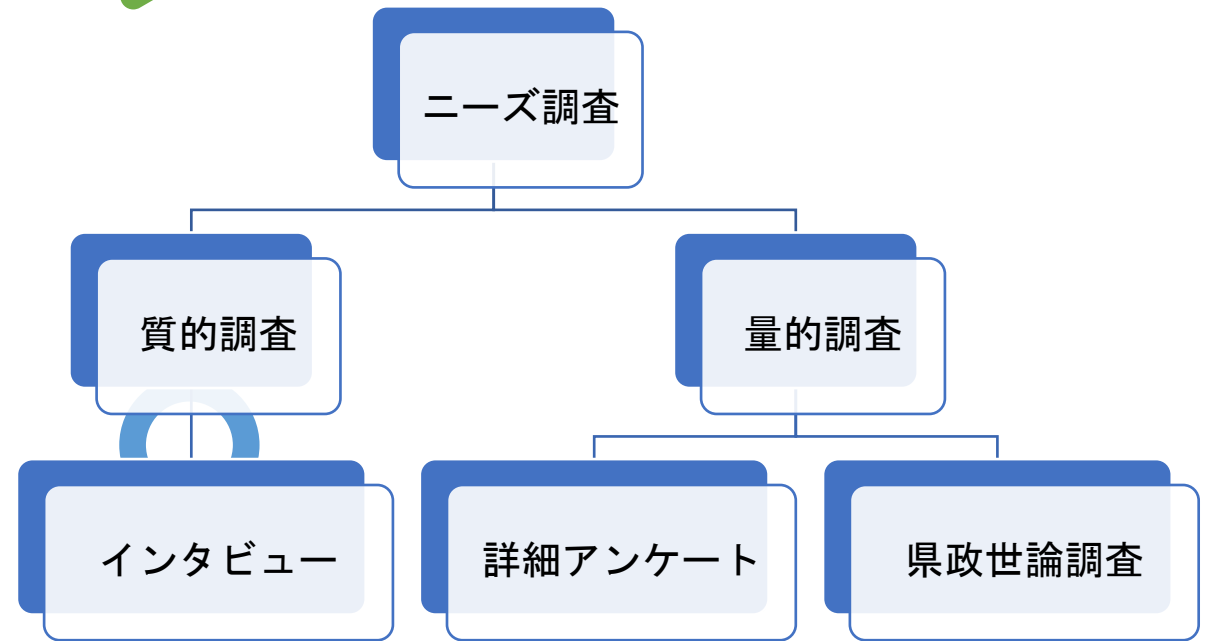
- 富山県の協力が得られ、「県政世論調査」への掲載  
→アンケート調査票は、  
簡易版（県政世論調査）  
詳細版（本調査アンケート）の2種類実施

### 【質的調査】

- インタビュー調査実施  
→計10名（13個のデータを収集）
- 当該大学教員の指導のもとで分析



- 2023年12月28日に富山県（県知事）に提言書を提出
- 現在報告書を作成中





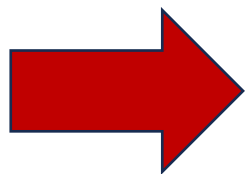
経済的支援

- 奨学金
- 第一志望校



国際的な学び

- 国際的な学校
- 多言語教育



多様性に欠けている



学びたい・学び直したいけど…

経済面

量的調査

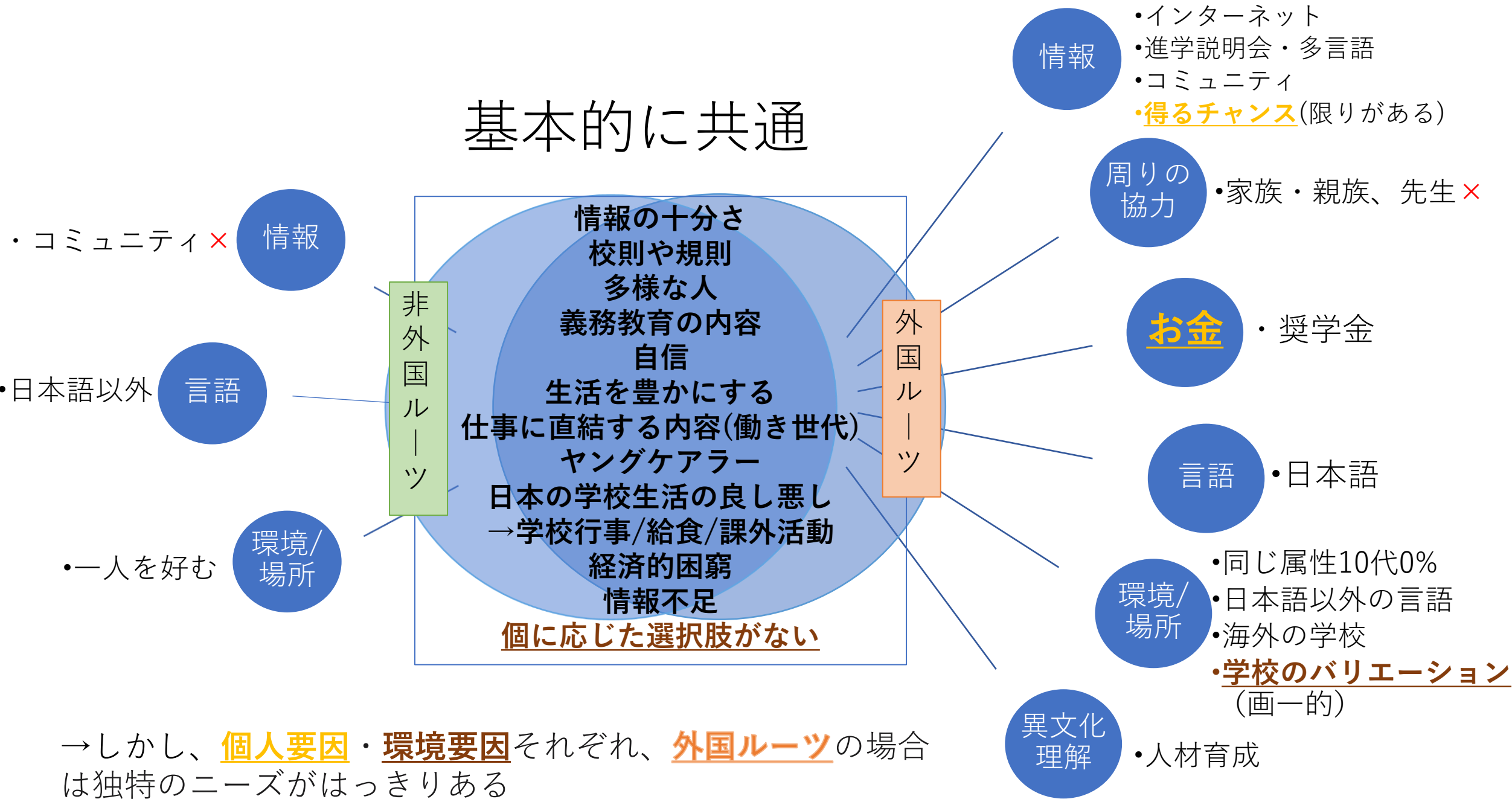
時間やお金がない  
最後まで続ける自信がない

質的調査

質的調査

一人ひとりのニーズについての声が非常に重要

# 基本的に共通



## 何を学びたいか（外国ルーツ）

- ・日本語や漢字を学びたい（特に20～40代）
- ・短期大学を求めない（非外国ルーツの女子のみ希望）
- ・仕事に関する勉強へのニーズ（20代以降）

## 不足

金銭的サポート  
情報サポート  
心理的サポート

## 学びたいけど学べないと答えた人の理由（外国ルーツ）

10代が多かった理由「周囲(家族や親族など)に協力してもらえるか分からないから」  
→若い外国ルーツの子は家族やコミュニティのサポートがない？  
→ヤングケアラー？

教師の無理解についての語り  
→教師によるサポートがない

## →親や教師など支援する側の学びやサポートが必要

- ・いじめと差別（異文化への無理解・孤独感・アイデンティティの不安感）で希望や自信をなくす
- ・情報不足

来日して間もない人が日本語が学べる場・進学できる場をまずは作る  
→新しい学びの場の提案（インターナショナルスクール・夜間中学など）

# 提言一覧

- 提言1 多様な学びの選択肢を整備して連続性を持たせ、寛容で柔軟な「富山型“多文化”インクルーシブ教育システム」を構築する。
- 提言2 多様なニーズに対応できる新しい学びの場をつくる。
- 提言3 今ある学校を変えるー「誰ひとり取り残さない」寛容で自由な学校・多様な個性を活かして他者と共に課題解決する学校へー
- 提言4 多様な個性を持つ教員を増やし、教員の多様な子どもへの理解・資質を向上する制度を整備する。
- 提言5 生徒の個性を多様な観点から評価して学校に入りやすくする。
- 提言6 経済格差が学びの格差にならないようにする。
- 提言7 富山県の組織や企業が多様な個性を尊重し積極的に活かせる環境を整備する。
- 提言8 情報の格差をなくす。
- 提言9 多様な県民が学び続けるため互いに支え合う地域のコミュニティづくりを進める。
- 提言10 外国ルーツの当事者の声を教育に反映し、フィードバックする循環型の仕組みをつくる。



外国ルーツ青少年に対するサポートのためには・・・

## 場づくりと場へのアクセスを可能にする組織

(ビジョン [提言1]、人材育成 [提言4]、当事者の視点が入った体制 [提言10])

### 場をつくる

(新しい場 [提言2]、  
場を変える [提言3])

子どもや若者の未来  
への期待や自己肯定  
感を挫かないような  
心のサポート

### 場へアクセスできるようにする

(評価 [提言5]、経済 [提言6]、情報  
[提言8] [提言9])

個に応じた指導や、柔  
軟で自由な教育、個性  
や違いを尊重し合う学  
校やクラスづくり

# 提言のうち外国ルーツ青少年へのサポートに関するもの

子どもや若者の未来への期待や自己肯定感を  
挫かないような心のサポートが必要！

教育現場では子供同士のコミュニケーションにより日本語を覚える。 ➡ 大きな学びとや成長を促す。

現場に受け入れ易い体制を整えるために研修などによって教員の育成が必要。 ← 教員育成にも知識が必要。



現状日本語指導が必要な生徒の受け入れ先は私立高校に偏っている為、進学には経済力が必要。経済的理由により学びたいのに学ぶことを断念するケースも多い。



日本の小中高以外の教育機関であっても18歳以下であれば学び続けられるようなサービスや高等教育へのアクセスを促進するような（在留資格の種類に依らない）経済的サポートが必要。

富山県として外国にルーツを持つ子どもの可能性を積極的に評価し、その学びを促進するための取り組みとして、外国にルーツを持つ生徒を対象とした奨学金の創設が求められると思います。

# 初期段階支援

## 一人ひとりのニーズに合った場の提供

場のあり方：  
マンツーマン→？  
同じ属性同士→？

日本語以外の言語を母語とする人が母語を維持し母語を活かして教科等学べるような学校・教室

来日して間もない人のための臨時的な学校・教室（プレクラス）や日本語以外の言語を母語とする人が母語を維持し母語を活かして教科等学べるような学校・教室

日本語教室の設置（学校内外）

なんでも相談所

来日した子どもとその保護者の居場所や頼れる場を設けることが重要

言語の壁を取り除くための教材・機器の活用

人員の配置（相談できる人、日本語指ができる人など）

多言語での情報提供

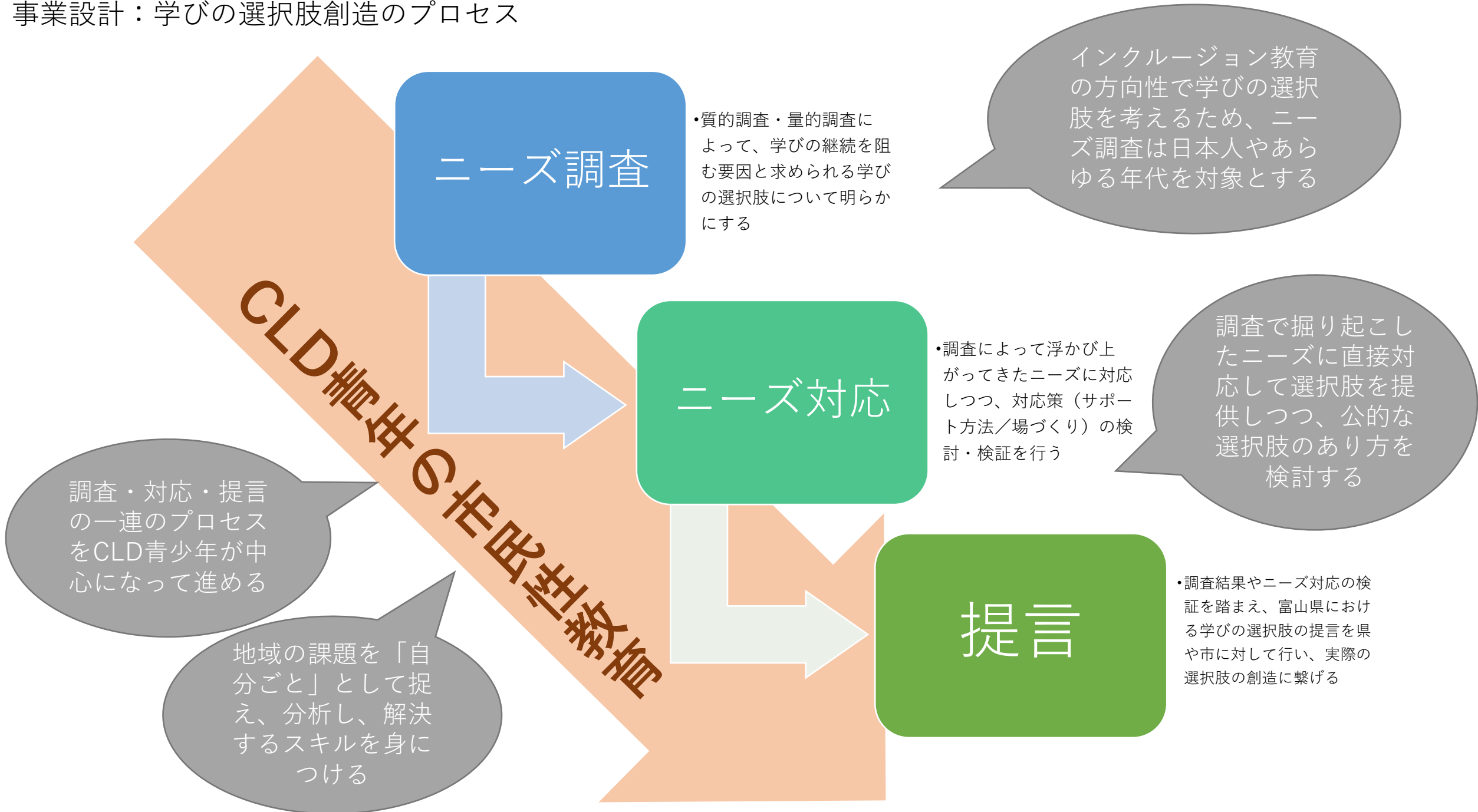


頼れる存在が欲しい

日本語を使いやすい環境なら、もっと日本語を覚えられるのに…



# 事業設計：学びの選択肢創造のプロセス



# 調査員として

- 外国ルーツの人の置かれた状況に対する理解
- 日本人に対する理解
- 地域に対する理解
- 自分に対する理解
- “チーム”の存在と力

# シンポジウム参加者へメッセージ

一人ひとりの小さな想いや行動が大切

ご静聴ありがとうございました。  
今後とも、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

